＜第 4080 回＞
目的地:高千穂峰～韓国岳
担当者：高岡英次
実施日：2020 年 10 月 31 日（土）～11 月 2 日（月）
形　式：ホテル泊山行
費　用：約４０,０００円
参加者：8 名
高岡英次・大橋ミチル・江口晶子・西山由加里・赤松朋子・岩谷多恵子・石居利里・原辺文子

行　程：
10 月 31 日　天気：晴れ
集合：JR 新大阪駅　東口改札（6：25）
新大阪駅(6：50)⇒(10:07)熊本駅前(レンタカー借)(10:25)⇒(13:25)高千穂河原→(14:10)お鉢火口縁→（14:25)脊門丘→(14:55)高千穂峰→(15:20)脊門丘→(15:30)お鉢火口縁→(16:15)高千穂河原→(16:35)霧島国際ホテル（泊）
11 月 1 日　天気：晴れのち曇り
霧島国際ホテル(7:40)⇒(8:00)えびの高原登山口→大波池登山口(8:30)→(10:30)大浪池休憩所→(11:03)大浪池→（11:26）韓国岳避難小屋→(13:12）韓国岳→（13:39）韓国岳七合目→（13:50）五合目→（14:51）えびの高原登山口⇒霧島国際ホテル（泊）
11 月 2 日　天気：雨
霧島国際ホテル(8:00）⇒高千穂峡観光⇒（レンタカー返却）熊本駅前(18:49)⇒(21:47)新大阪駅

感　想
当日、めったに乗らない新幹線、新大阪駅東改札口で待ち合わせ旅行客もほぼ満席状態と言う感じで出発。久しぶりに乗るとさすがに早い。予定通り、レンタカーを借り、直接高千穂河原登山口に到着。お天気も良く美女軍団も絶好調。到着の時間が昼過ぎだったので、ホテル前のローソンでおにぎりを買って車の中で昼食を済ませ、高千穂河原登山口に。霧島神宮古宮跡では全員で記念写真を撮り出発。最初は石畳の階段。程よい高さで登りやすい。先を進むとちょっと急登斜面が砂っぽく滑りやすい。更に登るとお鉢に到着。本当は一周出来るといいコースなんだろうと思いながら（火山活動してなかったら行けるのかな？）お鉢火口縁を見ました。みんな写真を撮りまくってましたが時間も余りないので、脊門丘、高千穂峰を目指します。高千穂峰到着、頂上に噂には聞いていた通り天の逆鉾が突き刺さっていました。頂上付近は風も強く寒くなって来たので、記念写真を撮り早々と高千穂河原に下山しました。
ホテルに着くとコロナウィルスのおかげで、荷物も台車をかりて部屋まで運び布団も自分でひき、ほとんどセルフサービスでした。今は仕方ないけどね～。ホテルは比較的すいてる様に思いました。楽しみにしていた夕食、今回（500 円）でお肉が付くと言うサービスを利用して食事をしました。普段は食べれないご馳走ばかりでした。僕は全部食べましたがお腹いっぱいになりました。女子はちょっと食べきれなかったかな？食事も終わりその日は疲れていたせいか、次の日を考えて早い目に眠りました。
二日目
7 時 30 分に朝食を済ませホテルを出発。お天気は曇り晴れ。20 分位でえびの高原登山口に到着。トイレをすませ、大浪池の登山口から出発。登山道の最初はほぼ平坦で広く歩きやすく森の中を進みます。大浪池分岐手前 30 分位から坂道が続きます。大浪池休憩所に到着、2 時間位歩いたので休憩。この辺りは紅葉が進んでいて丁度いい見頃でした。大浪池分岐を過ぎ大浪池に到着。かなりスケールの大きな池と言うか湖って感じです。曇りでしたが、ガスが余りかかってなかったので雄大な大浪池を見る事が出来ました。少し先に進むとガスが一面を覆い始め真っ白の状態でした。大浪池は大きいので、帰路も含めほぼ一周しましたが、一周すると結構時間がかかります。やっと韓国岳避難小屋に到着しました。昼食を済ませ出発します。木の階段が急で長く続きました。50 分位で頂上の韓国岳に着きました。頂上は登山客一杯で賑わっていました。ガスで展望はなかったけど、記念写真も個人の写真も一杯撮り、満足して安全に下山しました。鳥見山も時間があれば登る予定でしたが、ガスもかかり展望も無かったので登らず、ちょっと早めでホテルに帰り、昨日行けなかったホテルの露天風呂にゆっくり入り豪華な夕食も頂き、今日は宴会するぞと、皆張り切って（赤松さんの誕生日と言う事もありまして）お祝いしました。皆さん持参したお酒もあり楽しい宴会となり、その後休みました。
三日目
最後の日、ホテルを 8 時に出発し観光として高千穂峡に行きました。天候は雨だったのですが観光客は結構一杯でした。雨でも観光もし、ボートにも乗り楽しい高千穂例会でした。参加して頂いた皆さんありがとうございました。